











パウリスタを悩ます  
苦情も云へなさい。

## 焼却

の煙もり

### 流石は科學の國日獨兩者から

最近になって巷には  
非焼却の煙は夜毎々  
飛曳いて来ては漁げ  
奥い匂ひを露の如く

眞迷せるので葡字新聞紙上でも

市民の健康上甚だ宣教なくから

引越して矣れど再三咖啡局の方で

にせう還してゐるが焼却局の方で

はアラカル第一の生物咖啡の世

界市場昂上げの爲に止むを得ず焼

いてやつてゐるのだと少し位の事は

我慢して欲しいと云つて煙の出さ

ころである聖市郊外アラカルの焼却

所では依然としてナシムく休み

なくもやしてゐる。

この問題の剩余咖啡の始末は前記

アラカル、同じく聖市郊外のサン

カイターナ、他一個所並にサント

スの一個所で引きも切らすもやし

てゐるのであるが、このモッタ

ナサに目を附けた世界醫學界に

君臨する日本兩國が最近同時に業

人にはナユケリー病院へ常人となる

まて入院することに決定して共に

十四日收容所を發つた

トスから十四日まで移民收容所で宿

泊してゐたが同日午後三時諸手續

も終了してそれより開拓地へ向つ

た、爾ほ船中で狂女となつたバス

トス移住地行の橋本キヨ子十九歳

九日に移民七百五十名を乗せてサ

ントスに入港した第二七回移民

船のラブラタ丸移民はまる十一

歳の岩永水校長以

下石原、新善、小林など三教師一

行は去る十四日正午五時受持岩永教

師の讀本指導教室に就き、午後は

一學年受持三原女教師の讀本指導

教室に就き各その授業実況を參觀

終つて午後二時から四時半まで大

正小學校職員一同と共に一堂に會

し批評を行ひ各自意見を交換多大

の收穫に満足し散会した

十四日大正小學校にて

コチア小學校教師

授業實況參觀

十四日大正小學校にて

ラブラタ丸移民

行中で日本がはでは薬化學研究所

が海賊の手を免して交渉方申込

が承認のが成るが成らねかは今の

ところであるが、この取引が日本

が別として政府が諾さすれば聖

市を調停の所であるラブラタ

が海賊の手を免して交渉方申込

が承認のが成るが成らねかは今の

ところであるが、この取引が日本

が別として政府が諾さすれば聖

# 日本病院上棟式 来る廿八日に決る

澤田大使は公務の

都合で出席せず

來航中止の白馬山丸

ミナス行邦人農家

今月末二家族先發

残る二家族は來年度に

来航路異路航米南

日支戰局擴大に

邦入直輸入商あはてる

正月用

ガット参謀部の

第一回作レコード發表會

九月廿八日來

全伯武道大會へ

腕を撫し晴の日を待ちわび

出場戦士百數十名

九月廿八日來

全伯武道大會へ

腕を撫し晴の日を待ちわび

ガット参謀部の

第一回作レコード發表會

九月廿八日來

全伯武道大會へ

腕を撫し晴の日を待ちわび

出場戦士百數十名

## 支戦況片

[KAOJ 朝日八拾]

東中央日會

吉住勝彦

河原正夫

佐藤大郎

